

令和7年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（家庭科）

身に付けさせたい力	高学年	
	5年	衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できる力を付ける。
	6年	5年生で学んだことを基にし、衣食住などに関する体験的な活動を通して技能を身に付けるとともに、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な力を付ける。

児童の実態	高学年	
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に興味もち、意欲的に取り組む児童が多い。 ○知識面、技能面については、経験が少なく、全体的に基礎・基本からの細やかな指導、助言を要し、繰り返しの学習が必要である。 ○学んだことを生かし家庭で実践しようとする児童が多い。
	6年	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に意欲的に取り組む児童は多いものの、技能面での能力に大きな差があり、基礎基本が定着していない児童も少なからずいる。 ○道具の扱いなどに慣れておらず、教師の支援を要する児童がいる。 ○学んだことを生かし家庭で実践しようとする児童はいるが、そこまで必要性を感じていない児童もいる。

授業改善の具体的な手立て	高学年	
	5年	<ul style="list-style-type: none"> ○導入を工夫したり興味関心を誘うような活動を工夫したりして、意欲を高める。 ○自分の生活を見つめながら、実践的・体験的な活動を通して学び、学んだことを生活に生かすことができるように振り返る時間を多く設ける。 ○ノートや学習シートを効果的に活用し、知識を定着させる。 ○学習内容を理解するだけでなく、実生活に生かせるような活動を取り入れる。 ○視覚的に手順を示したり、躰きやすい点は重点として繰り返し押さえたりして、知識や技能としての定着を図る。
	6年	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動の際に、自分たちで分担を決め、活動内容を確認しながら的確に活動ができるようにする。 ○知識・技能面の充実・向上を目指し、5年時での活動を振り返りながら、違いを意識して取り組ませていく。 ○学習したことを家庭で生かす機会を増やす。その際、保護者からも一言頂いたりすることで、家族の一員として役立っていることに気付かせる。

		高学年
成果 (○) と課題 (●)	5 年	<p>○作品づくりに入ると興味・関心が増し、基本の定着にもつながった。身に付けた技能を積極的に使おうとする姿勢が見られた。</p> <p>●学んだことを家庭生活で実践するという点においては、個人差はあるものの、意欲的に取り組める子もいた。裁縫の学習では、基本的な技能が定着していない児童が多いため、繰り返し学習して技能を習得させる。</p>
	6 年	<p>○5年生で学んだことを積極的に使おうとする意欲や態度が育ってきた。</p> <p>●5年生同様、学んだことを生活で生かすことができたかという点については、個人差がある。また裁縫の学習では、5年生で行った玉結びや玉止め、ミシンの使い方などの技術が定着していない児童がかなり多く、なかなか予定通り学習が進まなかった。繰り返し経験させることで、知識や技能の向上を目指し、家庭でも実践する機会につなげていきたい。</p>